

## 教育目標3 安心・安全な教育環境の充実

### ⑩安心して教育を受ける機会の推進

客観的なデータをもとに、子どもと学級集団を理解し、必要な支援のための校内連携を検討し、実際に支援する体制を構築します。また、教員が子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、外部人材の活用を進めます。



### ⑪組織的・機能的な学校運営

校長のリーダーシップのもと、組織的、機能的に対応する体制を整備するとともに、公務のDX化などによる教職員の業務負担の軽減と教員一人一人の意識改革を図り、教育課題が効率的に解決できるよう努めます。

### ⑫学校施設の整備充実

「倉吉市教育施設長寿命化計画」に基づき、年次的な整備を実施し、エアコン整備やホワイトボード化など環境への配慮や質的改善を計画的に取り組みます。児童生徒1人1台端末などICT機器の整備・更新により学校内のWi-Fiエリアの充実を図ります。

### ⑬学校の適正配置の推進

将来を見据えた小・中学校の適正な学校規模や教育環境のあり方について、行政と地域、地域と地域との相互理解を深め、配置の方向性の検討を進めます。

適正配置計画の修正案（複数案）について地域の意向を取りまとめ、適正配置協議会で調整を図り、順次、学校統合準備委員会を立ち上げます。

### ⑭社会教育施設・体育施設等の整備充実

「倉吉市教育施設長寿命化計画」及び「倉吉市公共施設等脱炭素化推進計画」に基づき、年次的に整備を行っていきます。また、適切な維持管理を進めながら、誰もが安全・安心に利用してもらえるようユニバーサルデザインにも配慮した環境の整備を行い、利用促進に努めます。

## 教育目標5

## 伝統と文化・芸術を尊重し未来を創り出す人材の育成

### ⑰倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成

倉吉の自然・地理・歴史・文化・先人から学び「愛着をもつ・考える・行動する・生き方を確立する」ことのできる倉吉独自の教育課程や青少年健全育成などの取組により、地域の伝統の継承や地域づくりの担い手として主体的に活躍したり、様々な場面で倉吉を支えていける人づくりを目指します。

### ⑱文化財の保存、活用、伝承

経済観光部文化財課と連携し、引き続き博物館や歴史民俗資料館における文化財の保存・展示・普及活動をはじめ、学校教育・社会教育・図書館との協力関係をさらに強化し、文化財に関する学習機会を確保や情報提供に努めます。

### ③「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館【再掲】

# 第4期 倉吉市教育振興基本計画

令和8年度～令和12年度

## 教育理念

ふるさと倉吉を愛し 豊かな心と夢をもって  
主体的に生きる 未来を拓く人づくり

## 教育目標1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり

### ①つどい、つながり、学び合う社会教育の推進

市民がつどい、つながり、学び合うことのできる対話を通じた参加型学習を行うことで、仲間づくりと学習の成果を地域に活かすきっかけをつくります。特に若い世代が地域で活動することに自ら楽しさや喜びを見出し、地域に愛着と誇りをもって活躍する地域の創り手を育成します。

### ②持続可能な地域を支えるコミュニティセンター（公民館）機能の充実

住民相互による学習や活動、交流の促進等の支援し、地域住民を巻き込む仕掛けづくりを行い、地域の創り手となる人材の円滑な継承を図り持続可能な地域を支えます。多様な主体と連携協働することで効果的な事業展開や活動の充実を図ります。

### ③「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館

作品鑑賞や学びを通じて驚きや感動、新たな発見による知る喜びなど市民の「知的好奇心」を満たすとともに新たな価値を創造できる人材の育成にも努めます。子どもから高齢者、障がい者まで誰一人残さず、自然や先人が遺してきた本物に触れることで豊かな心を醸成しウェルビーイングの向上を図ります。

### ④豊かな心を育む図書館の推進

気軽に利用でき、暮らしに役立つ図書館活動を推進し、多様化・高度化する市民の知的要求に応えるため、情報の提供に努め、市民の豊かな心を育みます。読書バリアフリーの推進、家庭や職場・学校とは別の「サードプレイス」として、誰一人取り残さない図書館をめざします。

### ⑤地域とともにある学校づくりの推進

学校と地域が連携・協働し、地域の宝である子ども達を育てる「くらしのふるさとキャリア教育」を推進します。また、学校評価において保護者や地域住民などの意向を踏まえるとともに、評価結果の公表をはじめ、学校が教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供します。



### ⑥家庭教育の充実

子どもたちに基本的な生活習慣や自立心、社会性などを育むための情報提供や学習支援を行います。家庭・学校・地域が連携・協働して子どもたちの心身の成長を支える体制を構築することで、子育てについて悩みや不安などを抱える保護者に対しては、倉吉市健康福祉部などと連携した支援を進めます。



## ～「人権教育」を教育の基盤に 「くらしのふるさとキャリア教育」を基軸に～



## 教育目標2 主体性を培い、創造性を養う学校教育の推進

### ⑦学力向上の推進

「自ら課題を設定し、多様な人々と協働しながら解決策を生み出す力」「人間だからこそできる力」「主体的に学び続ける力」を育成し、「学習者主体の授業」を目指します。また、児童生徒の学びを支える非認知能力の育成を学校における全ての教育活動で意識し、取り組みます。



### ⑧特別支援教育の充実

全ての人がお互いの権利を尊重し、支え合う「共生社会」の実現にむけて、インクルーシブ教育システムの構築に努めます。また、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育支援を行うための就学相談・教育相談の充実、個々の発達と自立に向けた学校体制づくり、ICT活用推進に努めます。

### ⑨幼児教育の充実

生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期である5歳児から小1年生の「架け橋期」に育ちや学びをつなぐ「架け橋期カリキュラム」の編成と活用を推進していきます。あわせて、保育所・認定こども園・小学校・福祉部局との一層の連携・協働を図ります。

## 教育目標4 たくましく健やかな心と体づくりの推進

### ⑮人権尊重社会の担い手づくり

同和問題をはじめとする個別の人権課題と基本的人権や命の尊さについてさまざまな人権問題を教材として学ぶことをとおして、人権尊重社会の担い手として行動する児童生徒の育成を図ります。また、地域の中で住民同士の支え合い助け合う絆づくりの強化を目指します。



### ⑯たくましい体の育成

児童生徒の体力・運動能力の現状を把握し、各学校が作成する「体力向上推進計画」に基づき体力向上に努めます。また、生涯に渡り心身の健康を維持するために必要な知識と意識をもてるよう専門家による健康教育を引き続き進めます。

### ⑰学校給食の充実、食育の推進

豊かな心とたくましい体、望ましい食習慣などを育むため、学校給食の充実や食育の推進を図ります。また、食材を通じてふるさとを学び、愛着と誇りがもてる豊かな心を育むため、地産地消の推進を図ります。

### ⑱スポーツに親しむ環境の充実

市民の日頃のスポーツ活動や練習の成果を発揮する機会として市民スポーツ大会を開催し、市民のスポーツ活動の支援を行います。各種スポーツ指導者・役員などの担い手不足について、必要な施策を事業化します。また、体育施設等の整備を図り、生涯スポーツを推進します。